



TITLE:

故岸本英太郎教授・哀辞

AUTHOR(S):

経済学会

CITATION:

経済学会. 故岸本英太郎教授・哀辞. 経済論叢 1976, 117(5-6)

ISSUE DATE:

1976-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/133655>

RIGHT:

經濟論叢

第117卷 第5・6号

哀 辭

故岸本英太郎教授遺影および原稿

社会・技術システム論の発展と

作業組織の再編成……………赤 岡 功 1

合衆国の大規模農場経営の位置と

その階級性格(1)……………中 野 一 新 20

日本帝国主義下の中国北部占領地域開発の

「統合調整」と北支那開発株式会社……………鈴 木 茂 46

価値と分配について……………岡 本 義 行 72

「不変資本充用上の節約」の位置と構成……………吉 田 文 和 92

ホップズ社会哲学形成史における「歴史」の意味……………田 中 秀 夫 112

記 事

岸本教授逝く

追 憶 談 (渡部 徹・向井喜典・長谷川雅哉)

故岸本英太郎教授略歴・著作目録

昭和51年5・6月

京 都 大 学 經 済 學 會

哀 辞

昭和51年3月11日 本会評議員 京都大学教授 経済学博士 岸本英太郎先生 絶対性不整脈のため逝去されました
世寿61歳

先生は昭和12年京都大学法学部を卒業 昭和22年京都大学経済学部に進まれ 昭和32年7月教授になられ研究と教育に専念されました 先生は社会政策 労働経済論の分野においてつねに主導的開拓者的な役割を果たされ また多くの後進を育成され その貢献はまことに大なるものでありました

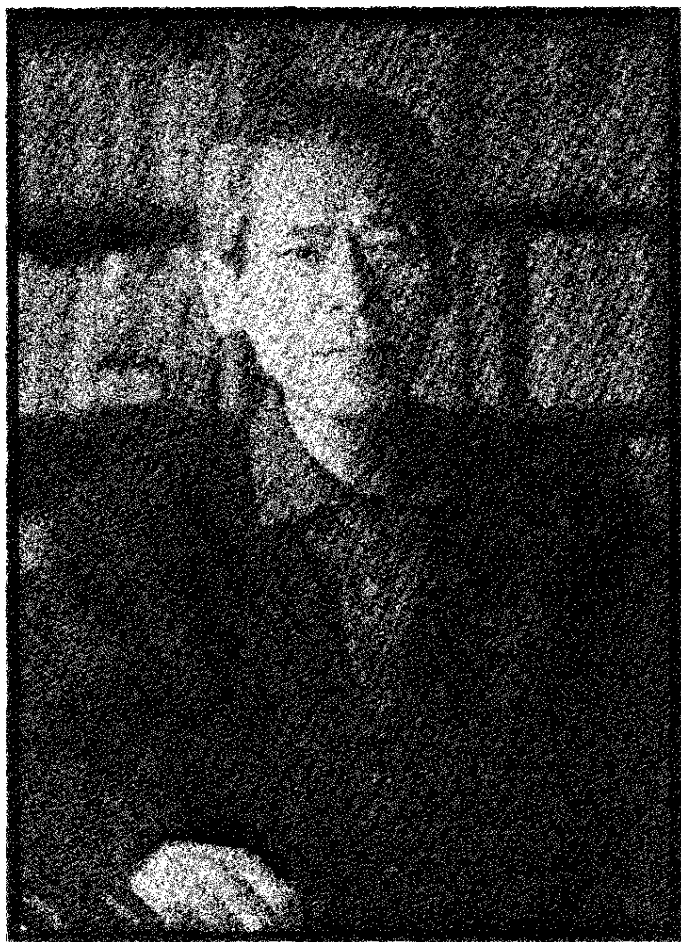
学内においては学生部委員 評議員 学部長として尽力され 学外にあっては大学設置審議会委員 学術奨励審議会委員として学術行政のため活躍される一方 労働調査研究所会長などわが国労働調査の上で理論的に多大の貢献をされました とくに戦後の社会政策論争に果たされた活躍には 刮目すべきものでありました

先生は京都大学経済学会の評議員として 本学会の運営につくされ 本誌によせられたすぐれた論文は 本誌に光彩をくわえました

謹んで ここに 先生の遺影をかかげ 心から哀悼の意を表します

昭和51年3月26日

京都大学経済学会



故岸本英太郎教授遺影

